

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	スカウト	Lv.1:		レベル	12
サポートクラス	アルケミスト	Lv.1:	レンジャー	性別	女
称号クラス				年齢	27
種族	ネヴァーフ			境遇	秘密
出自 (効果)	一般人			目標	逃亡

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	10	29	7	23	23	8	6
ボーナス	3	9	2	7	7	2	2
クラス修正	0	3	0	1	2	0	2
他修正							
能力値	3	12	2	8	9	2	4

HP	103
MP	94
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ブラスター	30m	-1	7	0	0	0	-5	0
左手									
頭部	ブラッディベレー		2	3		3			
胴部	大地のローブ					5			
補助	太陽の腕輪					2			
装身具	鷹の目			3					
能力値			12	0	2	0	2	11	8
スキル	マークスマン (5*2)			10					
その他	パワーブラスター (5)			5					
総計(右)			13	28					
総計(左)					2	10	2	6	8
総計(両)									m
ダイス数			4 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	9			9	+ 3 d
トラップ解除	12			12	+ 4 d
危険感知	9			9	+ 2 d
エネミー識別	8			8	+ 2 d
アイテム鑑定	8			8	+ 3 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定	12			12	+ 3 d

所持品	
異次元パック	ポーションホルダー
冒険者セット	ハイHP
筆記用具	ハイHP
HP	ベルトポーチ
ハイMP	小道具入れ
小型ハンマー	ハイMP
HP	万能薬
調理用具	
手提げバッグ	
ハイMP	飛翔符
ハイHP	

現在重量: 20
 最大重量: 25
 所持金: 11400
 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
マスターハンド	★	-	パッシブ	-	自身	自動成功		
効果:	《ガンスミス》を取得する							
ワイドアタック	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	命中		
効果:	武器攻撃を行う。命中判定の達成値に+SL							
ピアシングストライク	3	5	DR直後	武器	自身	自動成功		
効果:	+「SL」D							
ホークアイ	5	3	ムーブ		自身	自動		
効果:	+「SL」*3 移動orシーン終了まで							
ブラインドサイド	2		パッシブ		自身			
効果:	識別済エネミー +「SL」D							
ブルズアイ	1	6	マイナー		自身	自動		
効果:	攻撃ダメに+「感知」							
ブービートラップ	1	6	ムーブ		自身	自動		
効果:	1点以上でバステ付与。使用の際に決定、強度は1。シーンSL回							
シュアショット	1	4	マイナー		自身	自動		
効果:	命中+1Dダメージ+SL							
クイックエイド	1		マイナー		自身	自動		
効果:	HPを「CL×10」点回復し、バステ回復。シナリオ1回							
クイックアクション	1	8	ムーブ		自身	自動		
効果:	レンジャのマイナースキルを同時に使用可 シーンSL回							
コンバージョン:ブラスター	2		アイテム		効果参照			
効果:	「射程:30m」「カートリッジをSL個取得」							
アームズマスタリー:錬金銃	3		パッシブ		自身			
効果:	「種別:錬金銃」の命中判定+1D							
ウェポンフォージ	5	8	メジャ		自身	錬金術		
効果:	武器ダメ+「SL」D 使用の際に振る。シーン							
オプションパーツ	1		アイテム		自身			
効果:	「種別:銃部品」のアイテムをSL個取得							
インタラプト	1		効果参照	視界	単体	自動		
効果:	宣言したスキルの効果を打ち消す。シナリオ1回							

ブニャー25 信頼 彼女のモンスターの知識は非常に信頼出来る。
 メランジェー45 恩人 彼女の神聖魔術にはいつも助けられている。
 ストーカー15 あこがれ あの羽が羨ましい。あれがあればどこにでもいけるのに。
 ガウエイン33 同行者 彼とは話が良く合う。共に旅をするのは楽しい。
 フィネルター13 同志 身長の悩みを分かち合える。でも酒の友にはなれないかな。
 クウィーター64 家族 彼には気を使わなくていい。彼のとなりは落ち着ける。

一般的なネヴァーフの鍛冶職人のもとに生まれたベル。
 しかし彼女の興味は金属の加工技術では無く、錬金術へと向かって行った。
 古くから伝わる製法を大事にする父親とどんどん新しい技術に挑戦したいベル。
 ついに家を飛び出し、故郷を離れてアトリエを開いて研究生活をしていた。
 そんな折、ふとしたきっかけから賢者の石の製法を知り、
 作成してしまった事から彼女の生活は一変する。
 賢者の石が欲しい。賢者の石の作成方法を教えて欲しい。君の力が欲しい。
 日増しに増えていく賢者の石に関する依頼を全て断り続けた彼女は
 いつしか謎の組織に追われるようになり、各地の神殿を渡り歩きながら生活を続けている。
 「器は出来たけどこの石はまだ未だ未完成。絶対に完成させてやるんだから！」

